

委託事業実施内容報告書
平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

実施内容報告書

団体名: 特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター

1. 事業の概要

事業名称	「日本語ボランティアと共に学ぶ！生活日本語の読み書き会話」
事業の目的	これまで7年間、講師とボランティアとが協力して「生活日本語」クラスを行ってきた。学習者の日本人との関係作りの中で日本語能力と多文化相互理解をすすめることができていた。しかし学習者は日本語能力が足かせとなっており、自立した社会生活を送っているとはいえない。日常会話はもちろんであるが、希望の仕事に就けるようになるため、公的な社会の書類などの読み書きができるようになるまで、学習方法や社会知識も養っていく場が必要である。そのゴールを目指し教室の中身のレベルアップを図りたい。支援者が力をつけると即学習者に還元されるので、学習者のニーズや背景をしっかりと伝えられる養成講座を行い、研修会も充実させていく。日本人には外国人対応力、学習者には人間関係、読み書き、社会生活が不自由なくできるように、多方面の力をつけていく。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	当地域は在日コリアンが古くから居住し、1980年代からベトナム人も多く住んでいる。近年は留学生、技術研修生として来日しているベトナム人も多く、コミュニティも複数あり、その中で生活が完結している人もいる。またビジネスや結婚で生活をしている外国人も多い。多様性が認められている地域ではあるが、日本人住民としっかり交流できていないコミュニティもある。外国人住民すべてが日本語教室に来ているわけではないので、生活者の外国人に十分に日本語教育が行われていないことが課題である。長期間にわたって日本で生活を営んでいく人を対象に必要な生活日本語から学習でき、しかも長年にわたって力になる日本語力をつける教育カリキュラムを遂行しているところはない。
これまで日本語教育が行われていない市区町村の状況	
事業内容の概要	外国出身者が永住が数十年単位の長期的な生活を日本で送るという前提で、必要な日本語能力と文化風習を含む社会的知識が習得できる日本語クラスを開催した。日本人市民とのコミュニケーション重視の生活日本語クラスを行った。日本語講師と当センターのスタッフ、日本語ボランティアが情報交換や外国人が日本で住む場合に抱える困難にどう対処すればいいかの勉強会や研修会を行い、日本人市民と外国人市民の共生力を高めた。 養成講座や研修会を行い、生活者の外国人が「生活するために必要なことばや日本の文化風習はどんなものか」を理解してもらった。さらに長期の居住者や学習継続者でも読み書きにハンデを持っている人が多いので、日常会話だけでなく文字の読み書きをしっかりと身につけてもらい、中上級の能力まで伸ばせるように、漢字の基礎学習テキストを充実させ、利用した。
事業の実施期間	平成30年5月～平成31年3月（11か月間）

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	坂本 秀明	神戸市長室国際流推進部・係長
2	井口 洋	兵庫県国際交流協会・部長
3	小林 真由美	神戸市国際協力交流センター・課長
4	中野 美輝	難民事業本部・日本語教育指導員
5	高橋 博子	兵庫日本語ボランティアネットワーク・運営委員
6	志岐 良子	神戸定住外国人支援センター・NPO部門マネージャー
7	奥 優伽子	神戸定住外国人支援センター・日本語コーディネーター
8		
9		
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成30年6月25日 (月) 13:00～15:00	2時間	当センター教室スペース	坂本秀明 井口洋 小林真由美 中野美紀 高橋博子 志岐良子 奥優伽子	1. 出席者紹介と所属団体で昨年度より変わったこと 2. 2017年度の成果物の報告、2018年度の漢字の取組 3. 2018年度の事業説明とご意見のお願い
2	平成30年11月26日 (月) 13:00～15:00	2時間	当センター教室スペース	坂本秀明 井口洋 小林真由美 中野美紀 高橋博子 志岐良子 奥優伽子	1. 2018年度の取組、研修会のこれまでの報告 2. 地域日本語教室(KFC)について意見交換(うまくいっていること、困っていること、私ができること)
3	平成31年3月11日 (月) 13:00～15:00	2時間	当センター教室スペース	坂本秀明 井口洋 小林真由美 中野美紀 高橋博子 志岐良子 奥優伽子	1. 2018年度の取組、研修会の報告 2. これまでの文化庁事業の総括、今後の地域多文化共生に向けて行政の取組

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	市と県の国際交流を担っている協会の担当課長に運営委員に就任してもらっており、地域の多文化共生の情報全般を交換できた。また「ひょうご日本語ネット」「外国にルーツを持つ児童のための学習支援学校ボランティア研究会」に所属しているので、困難な事例や悩み事、アドバイスを求める相談ができた。難民事業本部の使っている生活をする人のためのテキストや学習方法を教えてもらい、生活日本語学習の情報を共有、交換することで地域全体を視野に入れて考えることなど、連携を進める意味は大きかった。
------	--

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	運営委員会ではそれぞれの団体のネットワークを活かし、事業への意見、支援と広報をより充実したものにするようにした。生活日本語クラスは、ベトナム語の通訳者とボランティア支援者として活動を行っていた。日本人との人間関係作り、日常会話と読み書きに特に重点をおいた。当センターが作成した「学習記録簿」を引き続き活用し、学習者主体の漢字の学習帳も取り入れた。 研修会は、講師とコーディネーター、ボランティア支援者の意見も取り入れながら企画した。運営委員にも十分に意見やアドバイスを聞いて、地域の日本語ボランティアの役割を見据えながら取り組んでいった。支援者の経験によって希望する研修が異なるので、研修会の目的を明確にし、適切な研修会への参加を促した。支援者の輪を広げ、支援者も主体的に研修会に参加できた。生活者に対する漢字学習支援のやり方も向上してきた。経験を積みながら漢字学習支援の方法を確立してきた。
----------	---

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称:生活日本語クラス・文字漢字クラス】										
目的・目標	日本語で生活できることを目標に必要な会話と読み書きの学習を行う。ボランティアには自然な日本語で話してもらい、地域のことに順応できるようにする。講師は学習者のニーズやレベルチェック、学習記録簿を使って自律的に学習していけるよう学習方法のアドバイスなどを担当する。文字漢字クラスでは新出漢字学習と既習漢字復習を組み合わせ文字や文章の読みや書く練習を行う。									
内容の詳細	日本語講師と日本語ボランティアが協力して学習者をサポートした。前半は、全体で会話学習やテーマ学習を行い、後半はマンツーマンかそれに近い体制で個人のレベルやニーズに合った学習を行った。生活日本語クラスの経験から、どんな会話のフレーズが人間関係の距離を縮めるか、またテーマ学習を入門向けから初級後半向けまで段階を追ってできるように講師とボランティアで話し合いを持った。学習記録簿に記入してもらい、主体的に学習すること、何を目標に学習しているかをいつも意識してもらうようにしてきたが、今年度は充実し目に見えて学習効果が出た。									
実施期間	平成30年5月1日～平成31年3月20日				授業時間・コマ数		1回 2時間 × 35 回 = 70 時間			
対象者	入門・初級・中級レベルの日本語学習者				参加者		総数 39人 (受講者 39人, 指導者・支援者等 14人)			
カリキュラム案活用	①②③を教室参加メンバーが決まってからのシラバスと各回の学習を決めるときに参考にした。④の内容を参考に講師がクラスのメンバーに合うようにして、定期的な学習の振り返り(3か月ごと)の時に使った。									
使用した教材・リソース	なでしこジャパニーズ、できる?できた!、みんなの日本語、漢字学習帳									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内 訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシ ア	ペルー	フィリピン	日本
	2	3	0	25	2	0	0	0	0	0
	台湾(2人)、アメリカ(2人)、フランス(2人)、ロシア(1人)									
日本語教育の実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	平成30年6月3日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	18	漢字・1分スピーチ	漢字学習(力、刀、山、出、七、九)。参加者全員で1分 間スピーチ・1週間で良かったこと・嬉しかったこと・新し い発見を発表した		坪田潤 岡本道代		
2	平成30年6月10日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	14	漢字・会話	漢字カードでできた、画数でとる。文を作ってみる。「こ の夏の過ごし方」を読む。		岡本道代 奥優伽子		
3	平成30年6月17日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ デイサービスセンターハナの会 議室	15	漢字・会話	漢字カード。その漢字の意味の確認と語彙を増やす。 ワールドカップの話。		坪田潤 岡本道代		
4	平成30年6月24日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	16	漢字・会話	今まで学習した漢字の復習。地震の話		坪田潤 岡本道代		
5	平成30年7月1日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	13	漢字・会話	漢字の分類(象形文字・指示文字)。パーティーの企画		坪田潤 岡本道代		
6	平成30年7月15日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	13	漢字・会話	漢字カード、絵カードでゲームをしながら学習。大雨の 話		坪田潤 岡本道代		
7	平成30年7月22日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	14	漢字・会話	似ている漢字(上下入人大犬)、日本の住宅事情の 話。		坪田潤 岡本道代		
8	平成30年8月5日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	14	漢字・1分スピーチ	楽しい漢字帳使用(太、天、小、中、分)・ポジティブ思 考を活性化するためのゲーム(参加者全員で1分間ス ピーチ・1週間で良かったこと・嬉しかったこと・新しい発 見を発表した)		坪田潤 岡本道代		
9	平成30年8月19日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	12	漢字復習テスト・自 己紹介	4課の復習テストを実施。参加者全員出来ていたので理解していると判断 し次回は次のステップ5課に進める。本日よりアメリカ人のウィリアムさん が参加したので全員で自己紹介。前半余った時間で形容詞のフラッシュ カードを行った。		坪田潤 奥優伽子		
10	平成30年8月26日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	14	たのしい漢字5課・ 1分スピーチ	午・牛・生・王・玉・年の学習書いて覚える。 タ形導入、目標として過去のことをスピーチで言うこと ができる。		坪田潤 岡本道代		
11	平成30年9月2日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	16	楽しい漢字5課と 先週の復習	5課 新出語(来・来・半)を書いて覚える。もう一点先 週の漢字の復習を実施。		坪田潤 奥優伽子		
12	平成30年9月9日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	15	楽しい漢字5課・ 1分間スピーチ	漢字5課復習プリント実施。新出漢字(来・来・半)1分 間スピーチ練習(good&new)		坪田潤 岡本道代		
13	平成30年9月16日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	16	楽しい漢字5課・ 1分間スピーチ	漢字6課漢字(女・男・子・好)練習。1分間スピーチ練 習(good&new)		坪田潤 岡本道代		
14	平成30年9月23日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	17	楽しい漢字6課・ 1分間スピーチ	漢字6課漢字(女・男・子・好)復習と新出漢字「白・町」 。1分間スピーチ練習(good&new)。全員で「しりとり」 ゲーム		坪田潤 岡本道代		
15	平成30年10月7日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	12	楽しい漢字6課・ 1分間スピーチ	新出漢字3課漢字(見・目・白)先週の復習「白・町」。1 分間スピーチ練習(good&new)。		坪田潤 岡本道代		

16	平成30年10月14日 (日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	14	漢字の復習6課ま で	PPで進行しながら、読み方と書き取りの練習 個別レッスン	坪田潤 岡本道代	
17	平成30年10月21日 (日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	18	季節「秋」の食べ物 と紅葉。漢字の6課 「見・貝・自」	全体では左記のとおり。個別レッスン(1対1で実施でき た)	坪田潤 岡本道代	
18	平成30年10月28日 (日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	14	生活の漢字(地名)	生活の漢字(新長田・神戸・兵庫)の意味と読みを確認 し、書く練習。	岡本道代 奥優加子	
19	平成30年11月4日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	19	生活の漢字(自転車 置き場の漢字)	生活の漢字(有料・無料)の意味と読みを確認し、書く 練習。	坪田潤 岡本道代	
20	平成30年11月11日 (日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	15	生活の漢字(自転車 置き場の漢字 partⅡ)	漢字「精算機・確認」等、読みと意味書く練習	坪田潤 岡本道代	
21	平成30年11月25日 (日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	12	やさしい漢字帳	漢字(止・正・文)の意味と読みを確認して書く練習。 スピーチ練習→自分の好きな物について話すことが出 来る	坪田潤 岡本道代	
22	平成30年12月2日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	12	漢字のおさらい	やさしい漢字帳の復習(書いて意味をし る)30分	坪田潤 岡本道代	
23	平成30年12月9日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	15	生活の漢字・ス ピーチ練習	生活の漢字(トイレのオオシュレットの文字 強い・弱 い)・良かったことスピーチ。 マンツーマンレッスン	坪田潤 岡本道代	
24	平成30年12月16日 (日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	14	病院の関連漢字	病気の名前と漢字(病院・内科・外科・歯科・眼科・耳鼻 咽喉科)の意味と読みを確認し、書く。	坪田潤 岡本道代	
25	平成30年12月23日 (日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	9	やさしい漢字帳・お 茶会	やさしい漢字帳(右・左・友・石・岩) お茶会2018年の振り返り	坪田潤 岡本道代	
26	平成31年1月13日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	15	はなしましろう	正月の休み中にしたこと発表 今年1年の目標設定と発表	坪田潤 岡本道代	
27	平成31年1月20日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	9	漢字・GOOD & NEW	漢字3文字(魚・鳥・心) 1週間で楽しかったこと嬉しかったこと新しい発見を名 話す	坪田潤 岡本道代	
28	平成31年1月27日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	11	おせち料理試食会	学習者と支援者で日本のおせち料理と母国の正月料 理について話すことでインターラクティブな交流をした	坪田潤 奥優加子	
29	平成31年2月3日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	8	節分の話	日本文化の紹介(節分のイベント・・・豆まきなど)	坪田潤 岡本道代	
30	平成31年2月10日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	6	旧正月	ベトナムと台湾の旧正月の様子を発表 日本ではどう過 ごしているかも話す	坪田潤 岡本道代	
31	平成31年2月17日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	10	漢字・話	漢字3文字(父・母・毎) 寒いときにどうするか、防寒具、体を温める食事など	坪田潤 奥優加子	
32	平成31年2月24日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ シューズプラザ4階会 議室	13	漢字の練習 自己紹介	漢字(右・左・友・石・岩)の意味と読みを確認して書く 練習。 スピーチ練習→自己紹介	坪田潤 岡本道代	
33	平成31年3月3日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ デイサービスセンター ハナの会	10	ひな祭りのお話 good&new	ひな祭りのPPT資料を使いながら、日本文化の紹介 good&new	坪田潤 岡本道代	
34	平成31年3月10日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ デイサービスセンター ハナの会	12	スピーチ 漢字	スピーチ(自己紹介・good&new) 漢字(名・公・工・台)	坪田潤 岡本道代	
35	平成31年3月17日(日) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援 センター教室スペース・ デイサービスセンター ハナの会	6	スピーチ 漢字	スピーチ(私の一週間) 漢字(手・毛・足・耳)	坪田潤 岡本道代	

日本語教育の実施【活動の名称:生活日本語クラス・文字漢字クラス】										
実施期間	平成30年5月28日～平成31年3月20日				授業時間・コマ数	1回 2時間 × 36 回 = 72 時間				
対象者	入門・初級・中級レベルの日本語学習者				参加者	総数 17人 (受講者 17人, 指導者・支援者等 7人)				
カリキュラム案活用	①②③を教室参加メンバーが決まってからのシラバスと各回の学習を決めるときに参考にし、④の内容を参考に講師がクラスのメンバーに合うようにして、定期的な学習の振り返り(3か月ごと)の時に使った。									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	5	1	0	6	0	0	0	0	2	0
	ロシア(1人)、南アフリカ(1人)、インド(1人)									
日本語教育の実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名		
1	平成30年6月6日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	6月の行事	6月の行事の話: 父の日、梅雨、日本の四季の特徴 漢字 土: 書き方、書き順、読み方、単語、土を使った言葉	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
2	平成30年6月13日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	漢字・会話(行きたいところ)	日本地図を見て、行ったことのある場所、行きたい場所の話 ・新幹線の主な駅名(西日本)・都道府県 神戸、関西のレジャースポット 漢字カードでかるた、漢字学習(木、林、森)読み方、書き方	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
3	平成30年6月20日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	漢字・会話(地震)	漢字カード。漢字学習「日」漢字の意味の確認と語彙を増やす。 大阪の地震について大丈夫だったか、困ったことはなかったかの話。	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
4	平成30年6月27日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	漢字・会話(性格を表すことば)	漢字カード。漢字学習「方」漢字の意味の確認と語彙を増やす。 「～さんはどんな人か」を言ってみましょう 好きな色を聞いて性格診断 血液型占い (性格を表す言葉を紹介する) いい(ポジティブな)言葉、その反対語(ネガティブな言葉)に分ける 明るい、楽しい、熱心な、こわい、怒りっぽい、家庭的な 控えめな、 冷静な、我慢強い、活動的な、繊細な、頑固な、まじめな	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
5	平成30年7月4日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	7月カレンダー	7月の祝日、行事の話: 7月16日 海の日 7月7日 七夕 短冊、天の川 中国、ベトナムにもあるか聞く 土用の丑 うなぎを食べる 漢字 四: 書き方、書き順、読み方、単語、数字を使った言葉 スリーヒントクイズ 2チームに分かれて問題を作り、出し合う	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
6	平成30年7月11日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	おふくろの味	おふくろの意味 ⇄ おやじ (女性はあまり使わない) おふくろの味の意味 中国、ベトナムにおいては「おふくろの味」とは、料理だけでなく、 お母さんの様子、愛、迎えに来てくれること、など色々な意味を含む それぞれの「おふくろの味」はなにか 漢字: 2課の問題を解いてもらう	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
7	平成30年7月18日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	スピーチ(家族について)	スピーチ「家族について」 プリントを見て、話す内容を考える 支援者と文章をつくる ①今日は家族について話します ②私の家族は口人です ③□ と □ と □ がいます ④ □ は です/ □ は私より です / □ は ○○が好きです ⑤これで終わります □ や の部分を埋めて 皆の前で話す練習をする 漢字 上と下 読み方、書き方、使い方 二つの漢字を対比させて 使い方や知っている熟語などについても聞く	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
8	平成30年7月25日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	漢字・1分スピーチ	漢字「分」読み方書き方、「分」を使った言葉 ・ポジティブ思考を活性化するためのゲーム(参加者全員で1分間スピーチ・1週間で良かったこと・嬉しかったこと・新しい発見を発表した)	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
9	平成30年8月1日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	8月カレンダー	今日の漢字。楽しい漢字練習帳から「生」 ・日本の8月の日本の行事について(海の日・お盆)	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		
10	平成30年8月8日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	暑い時の過ごし方	今日の漢字。楽しい漢字練習帳から「米」 ・「はなしましろう」→日本で暑い時の過ごし方(EX、かき氷・風林・うちわであおぐetc) それぞれの出身国での過ごし方(食べ物のお話が盛り上がった)	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)		

11	平成30年8月22日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	夏やすみ何をしましたか	夏休み中にしたことを、「私は口口をしました、それは・・・」+感想」のスピーチ用の文型シートに記入して発表した。 漢字は復習と理解度確認のため4課プリントを実施した。学習者は概ね理解していると判断する。	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
12	平成30年9月5日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	9月のカレンダー	本日の漢字(復習と新出字)“女” 本日新規学習者2名がクラスに参加(ベトナム・フィリピン)後半プライベートレッスン	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
13	平成30年9月12日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	漢字の復習・自国の名所を紹介するプレゼンpart I	漢字今までの漢字のおさらい プレゼン練習ステップ1→自国の名所について話すことができる。(見本を見せる)	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
14	平成30年9月19日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	漢字の練習・自国の名所を紹介するプレゼンpart II	漢字 6課「正」 スピーチ原稿作成・・・国毎に草稿(中国チーム3名 ベトナムチーム3名 フィリピンチーム1名 自国のお勧めスポットを紹介するための原稿を作成)来週発表予定	坪田潤	
15	平成30年9月26日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	漢字の練習・自国の名所を紹介するプレゼンpart III	漢字 6課「左・右」 協働学習(中国チーム3名 ベトナムチーム3名 フィリピン・ロシア各1名)で出身国のお勧めスポットを紹介のプレゼン実施。	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
16	平成30年10月3日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	10月カレンダー・漢字の練習・JLPT模擬試験・スピーチVTR振り返り	漢字 6課「多」カレンダー。 本日は目的別の3grpに分かれて学習。1grpはJLPT対策で模擬試験(N3問題)2grpは先週の発表会のビデオ鑑賞と振り返り。3grpは初級レベルの日本語学習。	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
17	平成30年10月10日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	料理のプレゼンに向けて調理道具・食材の名前導入&JLPT対策	漢字「名」来週のお国の料理プレゼン導入(調理道具・食材・調理等の名前) 日本語能力検定対策3名は別メニュー(模擬試験)	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
18	平成30年10月17日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	私の勧めるお国の料理、レシピ作成	今日の漢字「手」手を使った漢字の練習実施 国ごと(中国・ベトナム・フィリピン・ロシア)に分かれてレシピ作成 JLPT主催予定者は別メニューで問題集	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
19	平成30年10月24日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	私の勧めるお国の料理、レシピ作成 part II 発表	今日の漢字「心」を使った漢字の練習実施 国ごと(中国・ベトナム・フィリピン・ロシア)に分かれてレシピ発表	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
20	平成30年11月7日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	11月カレンダー・生活の漢字研修会トライアル	新長田周辺の施設の漢字を用いて漢字の意味と読み方の練習を行った「有料・無料」「定期専用」「場所」などカタログを見て、ピザを注文する練習をする	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
21	平成30年11月14日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	7	11月21日の料理教室の準備・漢字	21日実施のロシア料理とフィリピン料理の材料確認と買い物の段取り 新出漢字「電」電話・電気・雷など練習	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
22	平成30年11月21日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	8	ロシア料理(プロフ) フィリピン料理(シガン)を作るタスク	ロシア料理はマルハボさん。フィリピン料理はフランコさん指導で全員参加で調理した。 学習者は調理器具の名前について日本語で分かてなかったのやってみての発見であった。	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
23	平成30年11月28日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	4	料理教室の振り返りと今後の教室活動について	前週の料理を行って、上手いかったことの洗い出し。今後どんなことをしたいかのアイデア出しミーティング(ポストイットをつかって実施)	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
24	平成30年12月5日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	3	12月のカレンダー	12月の日本の行事。 お料理教室の画像を見ながら語彙の「おさらい」 漢字(新出語彙 音)と復習	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
25	平成30年12月12日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	漢字練習・病院の薬	漢字(休・休) 病院で処方される薬の飲み方(食後・食間・食前)内服薬・外用薬など	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
26	平成30年12月19日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	大掃除・もちパーティー	2018年の抱負の振り返り発表。大掃除。もちを食べるお茶会。	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
27	平成31年1月9日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	4	年末年始の行動発表	長期の休みだったのでクリスマス～大晦日～正月にしたことを発表し共有した。→話す練習 その後、マンツーマンレッスンを実施。	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
28	平成31年1月16日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	4	学習者による中国語勉強会	中国語を母語とする学習者に先生になってもらって、ベトナム人と日本人支援者に対して中文を覚えてもらった今日の漢字「帰」	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
29	平成31年1月23日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	2	ベトナム語勉強会	漢字「話・話・語」の練習 雪梅さんお茶のレクチャー フォンさんが講師でベトナム語のレッスン	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
30	平成31年2月6日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	3	初級文字・ラウンドテーブル	2グループで実施 インド人(ティニさん)はゼロ初級カタカナの練習 2名(フンキン・セハイさん)は今後のスケジュールmtgに参加	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
31	平成31年2月13日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	4	生活日本語入門クラス	2グループで実施 インド人(ティニさん)はゼロ初級カタカナの練習	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
32	平成31年2月20日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	3	ロールプレイ 病院でゼロ初級レッスン	ロールプレイ(病院での医者とのやり取り) TINIさんゼロ初級カタカナ・ファーストフードショップでの店員とお客様とのやり取り	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
33	平成31年2月27日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	ロールプレイ 病院で(2)ゼロ初級レッスン	ロールプレイ(病院での医者とのやり取り続き) TINIさんゼロ初級カタカナおさらい。ひらがな(あいうえお)。つなぐ1 2課あいさつ	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
34	平成31年3月6日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	ロールプレイ 病院で(3)ゼロ初級レッスン	ロールプレイ(病院での医者とのやり取り続き) 新しく王さんが参加、	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
35	平成31年3月13日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	ロールプレイ 薬局で	漢字「間」読み方書き方「間」を使った言葉 薬局での会話 2班に分かれてロールプレイ はじめてですか こちらに記入して下さい 他の薬をのんでいますか 錠剤 カプセル 粉薬 塗り薬 1日3回 食前 食後 食間	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)
36	平成31年3月20日(水) 10:00～12:00	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	ゲーム ゼロ初級レッスン	漢字「車」読み方書き方「車」を使った言葉 来週お花見の予定の確認。 しりとり、スリーヒントゲーム	坪田潤	野崎アミタープ(通訳兼指導補助)

日本語教育の実施【活動の名称:生活日本語クラス・文字漢字クラス】										
実施期間	平成30年5月28日～平成31年3月20日				授業時間・コマ数	1回 2 時間 × 31 回 = 62 時間				
対象者	入門・初級・中級レベルの日本語学習者				参加者	総数 12人 (受講者 12人, 指導者・支援者等 3人)				
カリキュラム案活用	①②③を教室参加メンバーが決まってからのシラバスと各回の学習を決めるときに参考にし、④の内容を参考に講師がクラスのメンバーに合うようにして、定期的な学習の振り返り(3か月ごと)の時に使った。									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内 訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシ ア	ペルー	フィリピン	日本
	0	1	0	9	2	0	0	0	0	0
日本語教育の実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	平成30年7月1日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	目標設定	十年後の自分の目標を考え、その発表も含めて自己紹介をする。カタカナの確認。漢字学習に対するそれぞれの目標を聞く。		岡本道代		
2	平成30年7月15日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	目標設定	ポストイットを使って①このクラスに参加した理由 ②1年後にどうなりたいか ③そのために今週やることを考えて発表する。		岡本道代		
3	平成30年7月22日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	2	漢字ノート	百字帳を渡し、その使い方を一緒に考える。このクラスの時間ですることと自宅ですることの確認		岡本道代		
4	平成30年8月5日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	漢字・習字	先週の振り返り・習字(筆書き)・漢字8文字		岡本道代		
5	平成30年8月19日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	3	漢字・習字	部首について。さんずい偏の漢字を集める。		坪田潤		
6	平成30年8月26日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	漢字・習字	先週の振り返り・漢字4文字と復讐のページ		岡本道代		
7	平成30年9月2日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	漢字・習字	先週の振り返り・漢字8文字		坪田潤		
8	平成30年9月9日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	3	漢字・習字	先週の振り返り・漢字8文字		岡本道代		
9	平成30年9月16日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	2	漢字・習字	先週の振り返り・漢字8文字		岡本道代		
10	平成30年9月23日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	漢字・習字	先週の振り返り・漢字4文字と復習のページ		岡本道代		
11	平成30年10月7日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	漢字・習字	先週の振り返り・漢字8文字(熱・冷・温・度・材・型・焼・器)		岡本道代		
12	平成30年10月14日 (日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	3	漢字・習字	先週の振り返り・漢字8文字(卵・乳・粉・塩・菜・果・豆・缶)		岡本道代		
13	平成30年10月21日 (日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	5	漢字	2組に分かれて漢字学習		岡本道代		
14	平成30年10月28日 (日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国 人支援セン ター教室ス ペース	4	漢字	2組に分かれて漢字学習		岡本道代		

15	平成30年11月4日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	5	漢字・問題集	2組に分かれて漢字学習	岡本道代	
16	平成30年11月11日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	5	漢字・問題集	2組に分かれて漢字学習	岡本道代	
17	平成30年11月25日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	5	漢字・問題集	2組に分かれて漢字学習	岡本道代	
18	平成30年12月2日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	問題集	語彙・意味	岡本道代	
19	平成30年12月9日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	問題集	語彙・意味	岡本道代	
20	平成30年12月16日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	問題集	語彙・意味	岡本道代	
21	平成30年12月23日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	問題集	語彙・意味	岡本道代	
22	平成31年1月13日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	4	漢字・漢字ストローク	ベトナム人2名は漢字、ネパール人2名は初参加、ストロークを筆ペンで書く	岡本道代	
23	平成31年1月20日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字ストローク・漢字を切る	ストロークの復習。漢字をパーツに切ってみる。一～十。象形文字。	岡本道代	
24	平成31年1月27日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字	漢字をテキストに沿って進める	坪田潤	
25	平成31年2月3日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字	漢字をテキストに沿って進める	岡本道代	
26	平成31年2月10日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字	漢字をテキストに沿って進める	岡本道代	
27	平成31年2月17日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字	漢字をテキストに沿って進める	坪田潤	
28	平成31年2月24日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字	漢字をテキストに沿って進める	岡本道代	
29	平成31年3月3日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字	漢字をテキストに沿って進める	岡本道代	
30	平成31年3月10日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	4	漢字	漢字をテキストに沿って進める 漢字の復習	岡本道代	
31	平成31年3月17日(日) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スベース	2	漢字	漢字をテキストに沿って進める	岡本道代	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【#0】7月末 漢字カフェの立ち上げミーティング。

漢字の学習に特化して実施、漢字を学びたい学習者を集めて毎週日曜日通常事業の午後に行った

非漢字圏の学習者にとって漢字の学習は困難を極め、これまでも中々継続が難しかったので今回は内的動機付けとそのモチベーションを維持させるために初回の授業では学習者の将来の「夢」を発表してもらいその夢に向かってのマイルストーンを設定し本人の動機付けとした。

学習者も目標を明確にすることでより充実した学習ができ学習が継続できている。



○取組事例②

【第17回～22回 平成30年10月10日～11月21日】

今年度後半は話す事を強化するという目的で、「プレゼンテーションができる」をテーマに協同学習を進めた。学習者は出身国毎にチームを組み初級者から中上級者までがチーム内で話し合いを進め、支援者はサポートにまわった。そんな中で学習者の主体的な行動が多く見られた。協同学習の内容は「私の国のお勧め料理」で、6回に亘りグループごとに料理レシピを考え発表原稿を作成しプレゼンテーションを行い、コンペ行って全員参加で作るレシピを決めた。その後コンペで決まった代表の料理を、料理(ロシア料理とフィリピン料理)の提案者がリーダーになって買い物から調理へとリーダーシップを発揮して実践した。この機会を得たものは大きく3点ある。先ずプレゼン能力の向上・次に協同学習をする上での学習者達の主体性とチームビルディング、そしてクラスの一体感が生まれたことである。



(2) 目標の達成状況・成果

授業前半のグループ学習について。(2時間のうち1時間はグループ学習を行っている)

3ヶ月スパンの目標設定をし、そこへ向けて授業を進める。これは学習者・支援者共に中期的な目標ができモチベーションを維持向上させることに繋がった。また、協同学習により、クラス内の一体感が生まれ、その中で学習者同士、又学習者と支援者の連携ができ学習者の日本語能力の向上と支援者側は学習者の母国の文化に触れ一体感が生まれた(多文化交流策)。更に、学習者の中には、曜日を横断して支援することで日本語能力試験N3合格者を4名出せたことが成果である。→中期目標や協同学習といった事例は好事例として次年度も引き続き行っていきたい。漢字学習は各クラス確実に定着してきているのでPDCAを回しながら更に内容を充実させて前進させていく。

(3) 今後の改善点について

ゼロ初級者と入門クラスの学習者の支援体制が軟弱で離脱者が多く出てしまった。今年度は本来当団体の理念である定住者外国人の3つの壁を取り除き(言葉の壁・制度の壁・心の壁)安心安全な暮らしの支援、と言った観点から「言葉の壁を取り除く」に対してゼロ初級・入門クラスの学習者に対する支援プログラムの標準が無く支援者個人裁量だけで支援をしていたが、今後ゼロ初級・入門者プログラムを開発し標準化して初級者への支援をより強化していきたい。(現在トライアル中)。また、現状で学習者のニーズと支援項目にズレが生じてきていることも否めなく、在籍の学習者については今後ヒアリングを通してニーズの引き出しと、学習者と支援者の組み合わせを再考しつつ進めていきたい。また、今後新たな学習者受け入れ時は初回対応時に支援者がヒアリングをして学習者とともに目標を共有し記録簿に記入の上サポートを行うようにしていきたい。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称:日本語学習支援者研修】										
目的・目標	日本語学習支援者の多文化共生社会への理解促進と日本語指導の能力の向上									
内容の詳細	日本語学習支援者の能力向上のために、講座、研修会を行った。 内容は、①外国人事情として、「外国人事情(神戸の外国人)」「やさしい日本語ワークショップ」「外国人の生活背景を知り、自分たちになにができるか考えよう」「難民出身者の生活課題を知り、神戸市内の関係団体の連携を考える」「外国人の生活背景を知り、自分たちになにができるか考えよう」を合計13時間、②学習支援をするための知識として、「テキスト研究会」「どういふうに支援をしているか」「事例発表会・意見交換会」を合計11時間、③文字学習をサポートするために、「音符を活用した漢字の学習方法」「生活の漢字出前講座」を合計8時間でした。									
実施期間	平成30年5月28日～平成31年3月20日				授業時間・コマ数		2時間／回×3回+1.5時間／回×2回+3時間／回×4回+1時間／回×1回+3.5時間／回×1回+2.5時間回×1回+4時間／回×1回＝32時間			
対象者	地域の日本語教室で活動している日本語講師、日本語ボランティア				参加者		総数 73人 (受講者 62人、指導者・支援者等 22人)			
カリキュラム案活用	当センターで実際にどのような目的でどのような内容の日本語教室を開催しているか、そのためにどのような養成講座が必要か、また支援者のどのような能力向上が必要かを企画するときに①～⑤を参考にした。									
使用した教材・リソース	社会参加のための日本語通信講座									
受講者の出身 (ルーツ)・国別内訳(人)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	0	1	0	0	0	0	0	0	0	61
養成・研修の実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名	
1	平成30年7月28日(土) 13:30～15:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	13	音符を活用した漢字の学習方法	漢字の音を表す構成部分に着目し、漢字を分類、漢字数の増やし方の方法の提案。		石沢 誠司		
2	平成30年9月5日(水) 12:30～14:00	1.5	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	どういふうに支援をしているか(水)	日頃の活動で自分たちがどういふうに学習支援をしているか発表し、質疑と意見交換		吉井 朋子		
3	平成30年9月8日(土) 13:00～16:00	3	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	神戸市の外国人の歴史と現在の状況／KFCの活動紹介	在日外国人の状況、神戸市の外国人の歴史的な経緯、やさしい日本語の説明とワークショップ		金 宣吉		
4	平成30年9月9日(日) 12:00～13:00	1	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	どういふうに支援をしているか(日)	日頃の活動で自分たちがどういふうに学習支援をしているか発表し、質疑と意見交換		坪田 潤		
5	平成30年9月18日(火) 13:30～15:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	テキスト研究会	難民対象の日本語学習テキストと生活に必要な学習方法のアドバイスと意見交換		中野 美紀		
6	平成30年9月25日(火) 12:30～14:00	1.5	神戸定住外国人支援センター教室スペース	5	どういふうに支援をしているか(火)	日頃の活動で自分たちがどういふうに学習支援をしているか発表し、質疑と意見交換		香田 ちづる		
7	平成30年9月27日(木) 12:30～14:30	2	神戸定住外国人支援センター教室スペース	6	どういふうに支援をしているか(木)	日頃の活動で自分たちがどういふうに学習支援をしているか発表し、質疑と意見交換		宇野 祐子		
8	平成30年10月20日(土) 13:30～17:00	3.5	神戸定住外国人支援センター教室スペース	11	「生活の漢字」学習支援者養成出前講座①	識字学習の意味と非漢字圏の生活者にどのように支援をしたら漢字学習が進むか心構えとやり方		棚田 洋平 御子神 慶子		
9	平成30年11月10日(土) 13:00～16:00	3	神戸定住外国人支援センター教室スペース	10	事例発表会＋意見交換会	ボランティアとして日本語学習支援をしていくことの事例発表と意見交換		岡本 道代	(発表者)片岡育子 山本富博 吉井朋子 高橋博子	
10	平成30年11月24日(土) 13:00～16:00	3	神戸定住外国人支援センター教室スペース	14	外国人の生活背景を知り、自分たちに何ができるか考えよう	外国出身者の日本での生活で大変だったことを聞き、その後自分たちで何ができるかをグループに分かれて考える		ハティタンガ 戎 香里菜	(ファシリテーター)坪田潤	
11	平成30年12月1日(土) 13:00～16:00	3	神戸定住外国人支援センター教室スペース	16	外国人の生活背景を知り、自分たちに何ができるか考えよう	市と県の外国語相談窓口者の話を聞き、その後自分たちで何ができるかをグループに分かれて考える		村松 紀子 白 リンダ 小林真由美	(ファシリテーター)石川明子	
12	平成30年12月22日(土) 13:30～16:00	2.5	神戸定住外国人支援センター教室スペース	9	「生活の漢字」学習支援者養成出前講座②	前回の講座から自分たちで行った漢字学習の発表、振り返りと意見交換		棚田 洋平 新矢 麻紀子		
13	平成30年1月19日(土) 13:00～17:00	4	神戸定住外国人支援センター教室スペース	15	難民出身者の生活課題を知り、神戸市内の関係団体の連携を考える	難民出身者の日本での生活上の課題を聞き、今後どのような支援を関係団体が連携して行っていくか話し合う		ハティタンガ リアチナムマン	(ファシリテーター)金宣吉	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第8回12回 平成30年10月20日～12月22日】

「生活の漢字出前講座」での気づき→1回目の講座後参加メンバーが中心になって各曜日 全クラスで取り組んだ。結果以下のようなフィードバックがあった。上手くいったことは今まで停滞していた漢字学習について自然に取り組めたこと、生活に密着しているので非漢字圏の学習者も比較的興味をもって学習参加をしていた。逆に苦労したことや疑問点については、当団体のクラス活動では漢字上級者と初級者を同じクラスで協同学習しているため理解力に差があり難しかったや、生活場面で目にする漢字は漢語が多く語彙説明が難しいなどの指摘もあった。その内容を受けて2回目の12月22日実施の研修会に持ち込み、出た疑問点に対して回答やフィードバックを頂いたことで当団体の財産になったと判断している。またこの講座を通して支援者のポジティブな気づきが生まれ前向きに行動するようになった。更によりブラッシュアップし現在も当団体の漢字学習指導に役立っている。



○取組事例②

【第10回11回 平成30年11月24日・12月1日】

外国人の生活背景を知り、自分たちに何ができるか考えよう→(定住外国人側と市・県の外国人相談窓口側 両面から見た内容で2回実施)
定住外国人が普段感じていることと支援者として活動している兵庫県国際交流協会の職員の方の両面から貴重な話が聞けた。(何に困っているどんな支援が必要かといったことが明確になった)、その中で、我々ボランティアサイドとして何ができるのかといったことを具体的にイメージでき「自分に出来ることは何か」といった観点から文字に起こせたことが良かった。今後のボランティアの活動と直結する有意義な研修会であった。
もう一点、兵庫県国際交流協会の職員との連携を図れたことも今後支援者単独で解決できない学習者からの相談の受け皿についても明確になった。



(2) 目標の達成状況・成果

・漢字学習は各クラス確実に定着してきているのでPDCAを回しながら更に内容を充実させて前進させていく

定住外国人支援活動については、

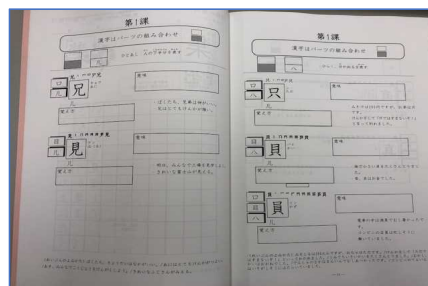
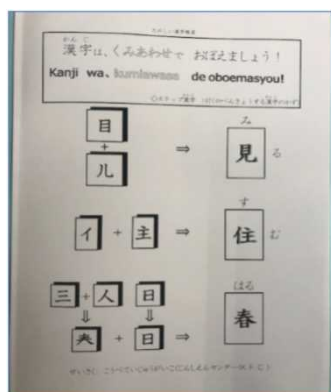
- ・集中討議の中で出た具体的な行動目標を参加者が発表し、共有出来たので実際の支援活動の中で有効に機能していくと判断する
- ・兵庫県国際交流協会外国人相談窓口担当者様との連携も今後継続して行っていきたい

(3) 今後の改善点について

・現状曜日ごとに取り組みに差異があるので、今よりもっと良くするために、今後も各曜日のコーディネーターがタッグを組んで情報を共有し、当団体全体としてPDCAを回してスキルアップに繋げ前に進めていく必要がある。→各曜日のコーディネーターミーティングを定期的に持つ必要がある

・シューズプラザ廃止に伴い日曜日のクラスを見直し再編するのを感じている→今後再編についてメンバー間で連携を図りこの作業を進めていきたい

日本語教育のための学習教材の作成【教材の名称：「楽しい漢字帳Ⅱ漢字は、くみあわせでおぼえましょう！」「絵日記風漢字学習帳」】			
目的・目標	生活漢字と日本語の文字の読み書きを学ぶ学習帳の作成。生活者に対する漢字学習支援の方法ノートの作成。		
内容の詳細	※読み書き学習帳を作成。 ①基礎漢字、漢字を構成するパーツと部首の意味を覚えよう／英語版・ベトナム語版(指導時間20H分) ②漢字の反復ノート(指導時間20H分)		
実施期間	平成30年5月28日～平成31年3月20日	作成教材の 想定授業時間	1回1.5時間 × 40回 = 60時間分
対象者	文字学習者(特に非漢字圏学習者)	教材の頁数	251ページ (楽しい漢字帳Ⅱ漢字は、組み合わせでおぼえましょう!・・・84ページ) (絵日記風漢字学習帳・・・167ページ)
カリキュラム案活用	外国人市民にどのような種類のどのような読み書きが必要かを知るために標準的なカリキュラム案等を参考にした。		
事業終了後の教材活用	読み書き学習を行うときの教材とした。		
成果物のリンク先	http://www.social-b.net/kfc		



4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

これまで7年間、講師とボランティアとが協力して「生活日本語」クラスを行ってきて、学習者の日本人との関係作りの中で日本語能力と多文化相互理解をすすめることができています。しかし学習者は日本語能力が足かせとなっており、自立した社会生活を送っているとは言い難い。日常会話はもちろんであるが、希望の仕事に就けるようになるため、公的な社会の書類などの読み書きができるようになるまで、学習方法や社会知識も養っていく場が必要である。そのゴールを目指し教室の中身のレベルアップを図りたい。支援者が力をつけると即学習者に還元されるので、学習者のニーズや背景をしっかりと伝えられる養成講座を行い、研修会も充実させていく。日本人には外国人対応力、学習者には人間関係、読み書き、社会生活が不自由なくできるように、多方面の力をつけていく。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

2011年度から教室コーディネーターがボランティア支援者と協力してクラス運営をすることは、ノウハウ（初めて来た人への接し方、学習支援の方法、生活のサポート）が蓄積され、十分に機能した。さらに他クラスとの連携により、日本語能力試験の初中級レベル受験者の支援も成功した。学習者が自分たちで学習スケジュールを計画しボランティア支援者が協力しあった結果である。十代後半の学習者には人生の夢が叶えられるステップとして日本語学校や高校、夜間中学校への橋渡しの役を果たすことができた。日本語を教えることだけを目的に参加を始めたボランティアにも外国人住民の置かれている状況に接して、日本語学習支援の本当の意味を理解してもらえた。漢字学習にも全クラスで取組めた。日本で生活をしていく人にとって漢字を含む読み書きの能力も必要であるということをボランティア支援者にも伝えることができた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

・カリキュラム案に目を通し、他団体でどのような教材を作っているかを参考にした。7月に呉市の日本語教室のことを知る機会があったので、当センターでもボランティア支援者のニーズも含めた教室の目標をしっかり持つよう研修を行い地固めを行えた。9月には難民向けの通信教育教材を研修し、生活者の立場に立った教材がどのような内容であるかより深く理解できた。指導力の評価は使っていきたいという意見が教室コーディネーターからあがったが、ボランティア支援者に適用するにはハードルが高く利用できなかった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今年度は外国人支援のNGOから講師を招き、外国人として生活する中で何に困ってきてどのように自身が解決していったかを研修してもらった。県の外国人インフォメーションセンターの相談員にも来てもらい、相談を受ける立場から口頭で話せる範囲の具体的事例を聞いた。今年度末から当市が難民の第一次定住地となったことから難民事業本部と協力をし、難民出身者の話を聞く研修も行った。また地域の人材育成センターに外国人向けのセンター機能をもつ場所の委託業者として地域の協力もあり応募したので、ますます連携を深めることができいくと思う。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

支援者向けの研修会は、事業周知と広報を広げることはできなかった。複数のメーリングリストや個人的なつながりを駆使して広報を手伝ってもらった。今後SNSの利用、申込方法の利便性など考えていかなければいけない。翻って学習者向けの講座は広報なく参加者が集まり、とりわけ夏と秋の時期は新しい学習者を受け入れて支援が十分にできなかった可能性がある。事業成果の発信は、当センターのHP、定期発行物で行っている。

(6) 改善点、今後の課題について

今年度は十代後半の学習者が増えてきたこと、ベトナム人研修生が日本語能力試験前に飛び込みで学習に来たことが特徴的であった。運転免許取得のための日本語学習もニーズが高い。若い主婦層が出産し学習を継続できなくなることもあった。日本語学習と生活支援が区別なくボランティアの役割になっているが、今後、会話パートナー、文法など教える先生、生活サポーターと区分して考えた方がいいかもしれない。

(7) その他参考資料